Asset Management

netWIN GSテクノロジー株式ファンド

Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

販売用資料 | 2022.8

※「netWIN」は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。 netWIN GSテクノロジー株式ファンドAコース(為替ヘッジあり)およびBコース(為替ヘッジなし)とnetWINテクノロジー株式マザーファンドを総称してnetWINといいます。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。 「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



リそな銀行

商 号 等 株式会社 りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

埼玉リそな銀行

商号等株式会社埼玉りそな銀行登録金融機関関東財務局長(登金)第593号加入協会日本証券業協会一般社団法人金融先物取引業協会

Connect THE FUTURE

それは、ITが変える未来への投資。

本ファンドは、「GS フューチャー・テクノロジー・リーダーズ Aコース(限定為替ヘッジ)/Bコース(為替ヘッジなし)」(愛称:nextWIN)とは別のファンドであり、投資対象等が異なります。また、本ファンドと同じ名称の外国投資信託とも別のファンドです。ファンドの性格をよくご理解いただいたうえでご投資ください。

■設定・運用は

コールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Connect

時代、時代ですい星のごとく現れては、 最先端のテクノロジーと先見性のあるアイデアで 世界中を魅了し、急成長を遂げるイノベーティブ・カンパニー。

こうした企業に共通していることは、 進化するテクノロジーを革新的なビジネスに変えるアイデアを持っていること。 いまある常識を壊し、新しい常識を生み出せる力を備えていること。 そして、人々の暮らしにかつてない価値をもたらすこと。

IoT、クラウド・コンピューティング、AI… つぎはどんなテクノロジーが世界を驚かせるのか。 netWINは、長期的な成長を期待できる イノベーティブ・カンパニーを発掘し、あなたの投資の力になる。

それは、ITが変える未来への投資。



Connect **THE FUTURE**

小売

×テクノロジー

ネットで注文すると、あらゆる商品が30分以内で届く。小型無人飛行機(ドローン)を使用した配達サービスが、今実用化に向けて進んでいます。また、レジでの精算なしで買い物ができるサービスなど、テクノロジーの力でショッピングがさらに便利な世の中へと変わります。





Connect **THE FUTURE**

金融

×テクノロジー

レジでの支払いは、ほんの一瞬、スマートフォンをかざすだけ。 テクノロジーの進化で、財布を持ち歩く必要のない時代になり つつあります。友人との食事会では、モバイル送金すれば、現金 要らずで精算完了。家計の管理から資産運用の指図まで、お金に関 することはすべて、財布なしでも完結できるよう進化します。

テクノロジーの発展で、

未来はもっと豊かになる。

Connect THE FUTURE

自動車 × テクノロジー

行き先を告げるだけで、クルマが自動で目的地まで連れて行って くれる。自動車メーカーやテクノロジー関連企業が独自に、また は協業し、完全自動運転車の開発に邁進しています。テクノロジー は自動運転だけでなく、交通インフラにも革新をもたらし、その 先には、事故や渋滞のない世界がきっと待っています。



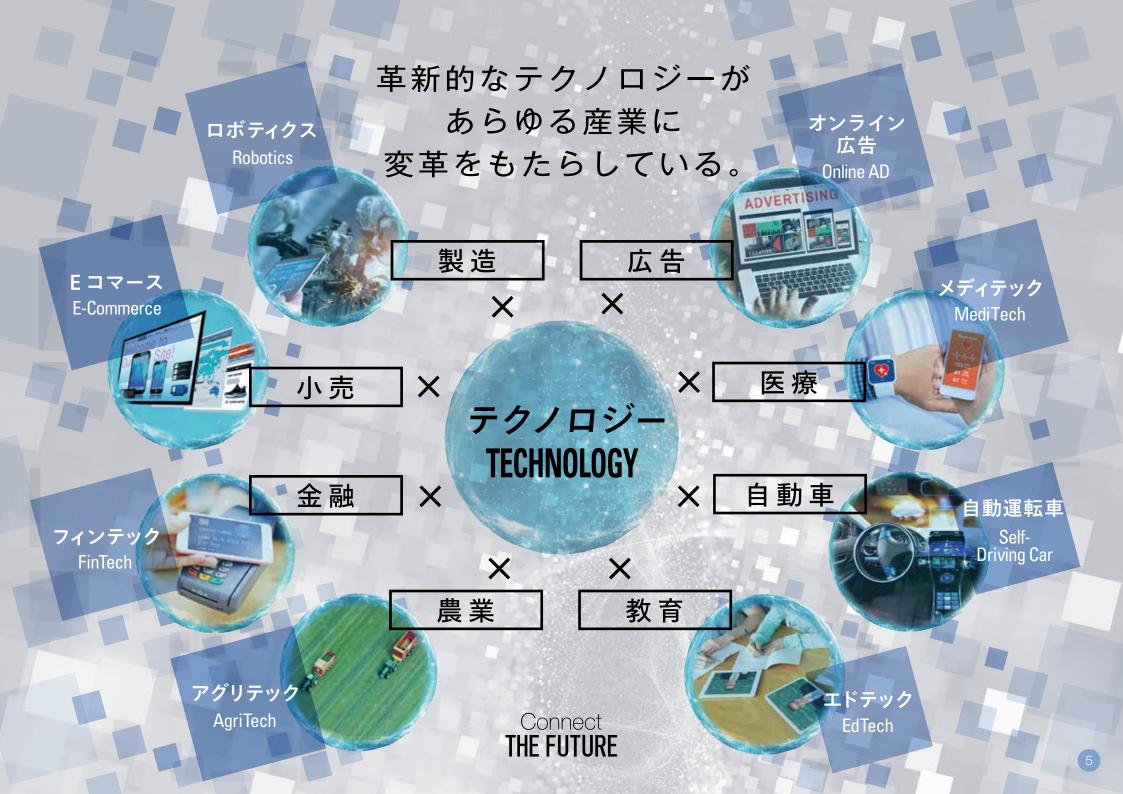


Connect THE FUTURE

製造

×テクノロジー

あらゆる作業が自動化されていく。長時間の単純作業も、危険な 現場も、ヒトに代わってロボットが解決してくれる。目の前の 機械はもちろん、地球の裏側で稼動する機械ですら、故障する 前にその兆候をセンサーが察知し知らせてくれることで、生産 効率は大きく上がります。



最先端のテクノロジーが、いつの時代もnetWINの力になる。

常に時代の先を見据え、一歩先の投資テーマ(革新的技術)を追求 インターネット普及期の2000年前後にはブロードバンドやケーブルTVといったインターネット・インフラ等に注目。アクセス端末がPCからスマートフォン等モバイル機器にシフトした2010年前後にはスマートデバイスやクラウド・コンピューティング等に着目。現在は、クラウド・コンピューティング、半導体、5G(第5世代移動通信システム)などの投資機会に注目しています。

POINT | 2 長期の運用実績 LONG TRACK RECORD

20年を超える長期の運用実績を誇る業界有数のファンド

1999年11月設定。20年を超える運用実績を誇る、業界のITセクターファンドを代表する 長寿ファンド。変化の速い米国テクノロジー関連企業を主な投資対象とするなかで、常に一歩先 の革新的技術をとらえる運用を20年超にわたり継続してきた強みがあります。

POINT 3 一貫性 CONSISTENCY

一貫した投資哲学に基づき運用

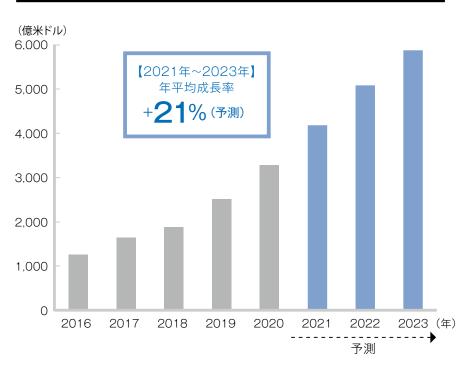
いつの時代も、持続可能かつ継続的な収益拡大を実現する企業には、共通の強みがあります。技術 革新が速く企業の栄枯盛衰の激しい IT 業界だからこそ、一貫した投資哲学に基づき、長期的な視点 で成長性の高いビジネスに投資します。

それは、ITが変える未来への投資。「CetWIN™

IoT時代を支えるクラウド・コンピューティング

- ▶世界的な「所有から利用へ」という流れのなかで、膨大なデジタルデータをネットワーク上に蓄積・保管し、スピーディに処理できるクラウド・コンピューティングの利用が加速しています。
- ▶ 今後もIoT (モノのインターネット) の浸透がますます進むことが予想されるなか、クラウド市場はさらなる成長を遂げると見込まれます。

クラウドサービスの世界市場規模の推移



期間:2016年~2023年(2021年以降は2021年時点のOmdia(英国の調査会社)の予測値)

出所:総務省「令和3年版情報通信白書」



【ご参考】組入銘柄のご紹介(2022年5月末時点)

マイクロソフト

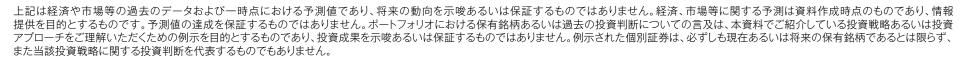
クラウド事業を第2の柱に成長する大手企業

- ▶ PC向けのWindows OSや業務用ソフトのOfficeで高い市場シェアを 誇り不動の地位を築いている世界最大級のソフトウェア企業。
- ▶近年、ソフトウェア事業に加えて、Azureをけん引役としたインテリジェント・クラウド*事業の拡大により新たな成長期を迎えている。
 - *同社のクラウド関連事業の名称

アマゾン・ドット・コム

インターネット小売の巨人の顔とクラウド大手の顔

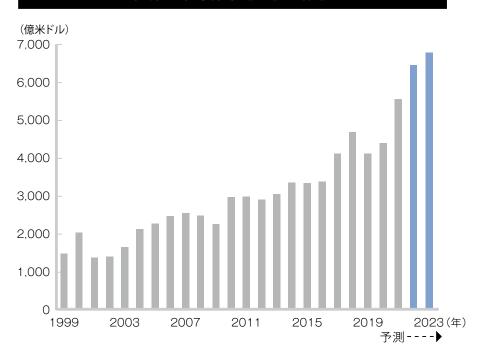
- ▶ 急成長を遂げるEコマース (電子商取引) 市場において独占的地位を 確立するインターネット小売の全米最大手。
- ▶ 利益率が高く、成長ペースが速いクラウド事業も第2の柱として多大な成長余地を持つ。



テクノロジーの革新を支える半導体

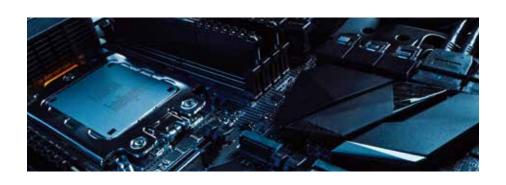
- ▶ テクノロジーの革新を根幹から支える半導体はあらゆる産業において 不可欠な存在です。活用される機会が足元でさらに広がり、その重要 性は高まっています。
- ▶ IoTの浸透により需要の拡大が見込まれるなか、加えてEV(電気 自動車)や自動車の電装化、エネルギーの効率化に資するパワー 半導体など構造的に成長が期待される分野が存在しています。

世界の半導体市場規模の推移



期間: 1999年~2023年(2022年以降は2022年6月時点のWSTSの予測値)

出所:WSTS(世界半導体市場統計)



【ご参考】組入銘柄のご紹介(2022年5月末時点)

KLAコーポレーション

半導体製造の効率化を担う検査・計測装置メーカー

- ▶ 半導体、プリント基板製造に関する検査・計測装置の製造、関連サービスのリーディングカンパニー。半導体製造における歩留まり改善に貢献してきた。
- ▶ 小型化、高性能化を目指し、半導体製造企業の微細化に対する積極投資が 続くなか、検査・計測装置で圧倒的なシェアを誇る同社もその恩恵を 受けることが期待される。

アナログ・デバイセズ

産業用途に強みを持つアナログ半導体メーカー

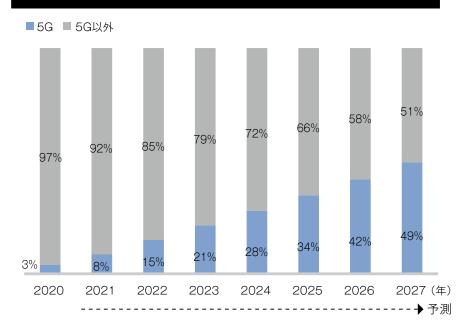
- ▶光や音、温度など現実世界の現象をデジタルに変換する役割を担う アナログ半導体大手企業。幅広い分野に製品を提供しているが、同社 はなかでも産業用途に強みを持つ。
- ▶ 同社は半導体テスト装置やロボティクス、自動車のバッテリー管理システム、 5G(第5世代移動通信システム)基地局など長期的に成長が期待できる 分野を今後の成長ドライバーとして見込んでいる。

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報 提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資 アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、 また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。

革新的技術の実現を支える5G

- ▶5G (第5世代移動通信システム) は、日本でもサービスの提供が 始まっている新たな通信規格です。4Gとの主な違いには、高速・ 大容量・多接続・低遅延があります。
- ▶ 5Gは、複数の端末とより多くのデータを瞬時に通信することができるため、自動運転システムや遠隔医療などの革新的な技術の実現に役立つと考えられており、今後、浸透していくことが見込まれます。

世界の携帯端末契約における5Gの比率(予測)



期間:2020年~2027年(2021年以降は2021年11月時点のエリクソンの予測値)

出所:エリクソン「Ericsson Mobility Report(November2021)」



【ご参考】組入銘柄のご紹介(2022年5月末時点)

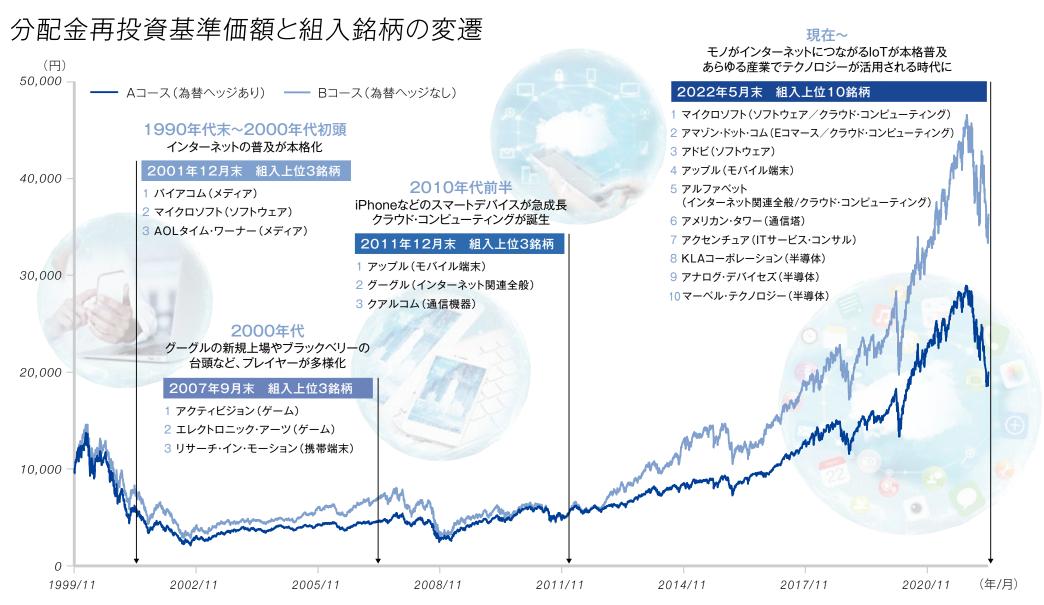
マーベル・テクノロジー

5G投資拡大の恩恵が期待される半導体メーカー

- ▶ 半導体メーカー。2016年に就任した経営陣のもと、積極的な買収による中核事業の強化や一部事業の売却などを進める。
- ▶ 今後、各国の通信事業者により5Gへの投資が拡大していくなかで、携帯電話の基地局や自動車、データセンターなどのさまざまな分野における半導体需要の増加による恩恵を受けることが期待される。

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報 提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資 アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、 また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。

▶ netWIN 運用実績と組入銘柄の推移



期間: 1999年11月29日(設定日)~2022年5月末 出所: ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ※企業名は各時点における名称を記載しています。また、企業名の後ろの()内は各時点における事業内容を示します。 上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。上記の分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額とは、本ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額です。 ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特色1

主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。

特色 2

「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。

特色 3

Aコース(為替ヘッジあり)、Bコース(為替ヘッジなし)の選択が可能です。

※主要な投資対象とする米国企業には、メディア、テレコミュニケーション、テクノロジー、サービス等のセクターにおいて、インフラ、コンテンツ、サービス等を提供する企業を含みます。

※Aコースは、対円での為替へッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。なお、為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨と円の短期金利の差が目安となり、円の短期金利のほうが低い場合、この金利差分、収益が低下します。Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※販売会社によっては、いずれかのコースのみのお取扱いとなる場合があります。

※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

▶ 銘柄選択のポイント・運用会社の紹介



▶ 銘柄選択のポイント

本ファンドでは、主に米国を中心とした「テクノロジー・トールキーパー」企業など、テクノロジーを活用することで、コスト構造、収益性、競争優位性の改善や維持が期待できる企業や、ビジネス・モデルの継続性が期待できる企業の株式に投資します。

「テクノロジー・トールキーパー | 企業

本ファンドでは、テクノロジー業界において、高速道路などの「料金所」のように「交通量」(=売上げ数量)の増加や「通行料」(=価格)の値上げによって収益を上げることのできる企業を「テクノロジー・トールキーパー」企業と呼びます。



「テクノロジー・トールキーパー」 企業のイメージ

- × 高速道路の建設業者
- ・収益機会は建設時の一度きり
- ・交通量が増えても恩恵を受けない

ではなく

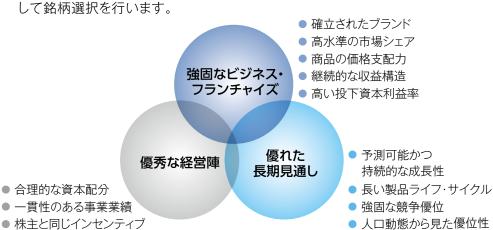
- 高速道路の料金所
- ・通行料という継続的な収入源
- ・交通量が増えれば収入増

上記はイメージです。

※「テクノロジー・トールキーバー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の 登録商標です。

銘柄選択のポイント

本ファンドでは、持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業に着目して銘柄選択を行います。



上記は、持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業についての一般的な特徴をまとめたものであり、 必ずしもすべての組入銘柄にあてはまるものではありません。

▶運用会社の紹介



► くご参考>テクノロジー関連株の値動きの特徴



- ITバブル崩壊の過程で、S&P北米テクノロジー指数やナスダック指数は、最大でそれぞれ▲84.0%(2000年3月27日~2002年10月9日)、▲77.9%(2000年3月10日~2002年10月9日)の下落率を記録しました。
- ▶ テクノロジー関連株式から構成されるS&P北米テクノロジー指数やテクノロジー関連株式の構成割合が相対的に高いナスダック指数は、幅広い業種から構成されるS&P500指数と比較して、相対的にリスク(価格変動性)が高い傾向がありますのでご留意ください。

S&P500指数とテクノロジー関連株指数の推移(米ドル・ベース)

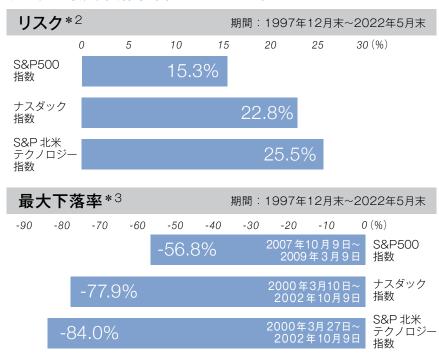
ITバブル崩壊の背景 ▶インターネット市場の黎明期(れいめいき)であり、 多くの企業がビジネスモデルを確立していなかった。 ▶ フリー・キャッシュ・フロー*1の創出を伴わない、何年も 1.400 先の売上成長見通しに基づいて株価が形成(バリュエー ションの高騰)されたITバブル期から、他セクターと 同等の株価評価に回帰する過程で、株価が大幅に反落。 1,200 1.000 S&P 北米テクノロジー指数 ナスダック指数 --- S&P500 指数 800 600 400 200 100 1997/12 2000/12 2003/12 2006/12 2009/12 2012/12 2015/12 2018/12 2021/12

*1 企業が営業活動で稼いだ資金から投資に回した資金を差し引いた余剰の資金を指します。

期間: 1997年12月末~2022年5月末(1997年12月末を100として指数化)

出所:ブルームバーグのデータに基づきゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

リスクと最大下落率(米ドル・ベース)



- *2 リスクは月次リターンより算出した年率標準偏差です。リスク(標準偏差)とは、全体の結果が平均の近くにまとまっているか散らばっているかを表す指標です。例えば、ある市場のリターンのリスク(標準偏差)が小さければ小さいほど、日々のリターンは平均リターンの近くにまとまり、それだけリスクの小さい市場であるということがいえます。また、ある市場のリターンのリスク(標準偏差)が大きければ大きいほど、日々のリターンは平均から散らばったものとなり、それだけリスクの大きい市場ということになります。
- *3 最大下落率は、計算期間における過去の最高値から、その後下落した際の下落率の最大値をいいます。

上記の指数は、本ファンドのベンチマークではありません。指数には直接投資することはできず、取引コストや流動性等の市場要因なども考慮されておりませんので、実際の取引結果とは異なります。 上記はあくまでも指数の推移であり、本ファンドのデータではなく、また将来の結果を示唆または保証するのものではありません。

(年/月)

▶ 投資リスク



▶ 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、 為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、 基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに 帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)・集中投資リスク

本ファンドは米国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動リスク等のさまざまなリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特にテクノロジー関連企業等の株式の下降局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が大きいと考えられます。また、本ファンドは、一定の業種に対して大きな比重をおいて投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高く大きなリスクがあると考えられます。

一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は 短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。 また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

為替変動リスク

本ファンドは、外貨建ての株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替へッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは対円で為替へッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替へッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります。(ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨と円の短期金利の差が目安となり、円の短期金利のほうが低い場合、この金利差分、収益が低下します。)

※収益分配金に関わる留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益 (経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益) を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間 におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

▶ netWIN お申込みメモ(りそな銀行、埼玉りそな銀行で お申込みの場合)



冬販売会社の取扱に係る純資産総数

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

お申込みメモ

NO FIXE OFFICE						
購	入 <u></u>	単	位	1万円以上1円単位		
購	入	価	額	購入申込日の翌営業日の基準価額		
購。	入	代	金	販売会社が指定する日までにお支払いください。		
换 :	金	価	額	換金申込日の翌営業日の基準価額		
换 :	金	代	金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。		
購り申記	•		_			
申込	締も	切時	間	「ニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで		
信:	託	期	間	原則として無期限(設定日:1999年11月29日)		
繰.	Ł	償	還	各コースについて受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。		
決	算	<u>[</u>	田	毎年5月30日および11月30日(ただし、休業日の場合は翌営業日)		
収音	益	分	配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない 場合があります。		
信託:	金の	限度	額	各コースについて1兆円を上限とします。		
スイ	゚ヅ゠゙	チン	グ	各コース間でスイッチング(乗り換え)が可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます。		
課行個人				課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度 (NISA)の適用対象です。配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならび に換金(解約)時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。		

委託会社その他関係法人の概要について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(委託会社)

信託財産の運用の指図等を行います。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(投資顧問会社)

委託会社より株式(その指数先物を含みます。)の運用の指図に関する権限の委託を受けて、 投資判断・発注等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社(受託会社)

信託財産の保管・管理等を行います。

株式会社りそな銀行、株式会社埼玉りそな銀行 他(販売会社)

本ファンドの販売業務等を行います。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

時 購入申込総金額に応じて下記料率を購入申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た 数 料 金額となります。

購入時手数料
は、商品およ
び投資環境に
関する情報提
供等、ならびに
購入に関する
事務手続きの
対価として販
売会社が得る
千粉料です

購入申込総金額 手数料率 3.000万円未満 3.3%(税抜3.0%) 2.2%(税抜2.0%) 3,000万円以上5,000万円未満 5,000万円以上1億円未満 1.1%(税抜1.0%) 1億円以上3億円未満 0.55%(税抜0.5%) 3億円以上 なし

※マイゲート(インターネットバンキング)または定時定額購入プラン(積立投資信託) でご購入の場合は、表記手数料率から30%優遇となります。

手数料を乗じて得た額

スイッチング スイッチングによる申込日の翌営業日の基準価額に1.1%(税抜1.0%)の手数料率

信託財産留保額なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理 (信託報酬)

信託報酬の総 額は、日々の ファンドの純資 産総額に信託 報酬率を乗じ て得た額とし ます。

純資産総額に対して年率2.09%(税抜1.9%)

内訳		台級元五位の収扱に示る純貝庄秘領	
14 b/		100億円未満の部分	100億円以上の部分
支払先	委託会社 ファンドの運用/受託会社への指図/ 基準価額の算出/ 目論見書・運用報告書等の作成等	年率1.1% (税抜1%)	年率0.88% (税抜0.8%)
スのおり のより のより の 内容	販売会社 購入後の情報提供/運用報告書等 各種書類の送付/分配金・換金代金・ 償還金の支払い業務等	年率0.88% (税抜0.8%)	年率1.1% (税抜1%)
	受託会社 ファンドの財産の管理/ 委託会社からの指図の実行等	年率0.11% (税抜0.1%)	年率0.11% (税抜0.1%)

※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末 または信託終了のときに信託財産中から支払われます。

信託事務 の諸費用

監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託 財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末 または信託終了のときに信託財産中から支払われます。

その他の費用・

有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用·手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、 運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて 異なりますので、表示することができません。